

第102回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2022年3月28日（月） 10：00～12：00

2. 場 所：オンライン会議（Zoom）

3. 出席者（役職順／所属順、敬称略）

議長：松久 寛

副議長：草柳 俊二、吉開 範章

幹事：田中 克、伊藤 和也、木下 宏揚

委員：石川 孝重、石橋 邦夫、大西 公平、掛谷 英紀、鎌田 潤一、中野 智仁、
夏目 賢一、本間 弘一

アドバイザー：札幌 順、三木 哲也

オブザーバー：川上 理英、横山 真吾、吉沢 清晴

事務局：木暮 賢司

4. 議題

① 前回議事録(案)について（審議）（技倫資料102-3-1, 102-3-2）

② 2022年度技術倫理協議会構成（令和4年度体制）の件（審議）（技倫資料102-4）

③ 第18回公開シンポジウム（日程、会場、テーマについて）（審議）（資料無し）

④ 公正研究推進協会掛谷委員から提案

「Let Scientific Evidence Determine Origin of SARS-CoV-2, Urge Presidents of the National Academies」同等の声明発信について（審議）（技倫資料102-5）

⑤ 会員活動報告について（報告）（技倫資料102-6）

⑥ 次回第103回以降協議会日程について（審議）（資料なし）

・ 第103回：2022年●月●日（●）

＊時間：●：00～●：00（予定）

＊場所：Zoom（予定）

⑦ その他

5. 議事

① 前回議事録(案)について、議事内容の確認、審議を行い、原案を承認した。

② 2022年度技術倫理協議会構成（令和4年度体制）について名簿の表記方法を一部変更の上承認した。

③ 12月8日（木）に土木学会会議室とオンラインを併用したハイブリット式での開催とすることとした。

④ 掛谷委員より、現在の進捗について報告があった。

⑤ 定例の各学協会の活動概要が、各学協会委員から報告された。

⑥ 次回第103回協議会は、2022年4月25日（月）10時30分からオンラインで開催する。

⑦ その他 特に無し

第 102 回技術倫理協議会（2022 年 3 月 28 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	2月7日（月）17：00～19：00 に理工学系分科会を開催した。次回の分科会は5月に開催予定。6月より新体制になる。2月22日（火）に全国公正研究推進会議を開催した。
2	電気学会	<p>・ 3 / 2 1 春の全国大会 倫理委員会主催 シンポジウム開催 「イノベーションを生み出す人材育成」</p> <p>講演者： *金子 成彦（早稲田大学 教授 / 東京大学 名誉教授） *鈴木 寛 様（東京大学 教授 / 慶應義塾大学 教授） *神成 文彦（慶應義塾大学 教授） *石井 秀明（株式会社東芝 執行役上席常務） *パネル討論モデレータ：大西 公平（慶應義塾大学 特任教授）</p> <p>・ 3 / 2 4 第 6 3 回 倫理委員会開催 教育 WG を終了に伴い、2022年度以降の新規 WG について審議し、「事例集 3 “作成 WG（仮称）” を設置することとした。</p>
3	電子情報通信学会	<p>(1) 技術と社会・倫理(SITE)研究会が、2022年3月7・8日に、京都大学学術情報メディアセンターにて、オンライン開催も並行して、インターネット・アーキテクチャ研究会との共催、情報処理学会・インターネットと運用技術研究会と連催により、インターネットと情報倫理、教育、一般をテーマに開催され、データサイエンスの ELSI/倫理に関する4件の招待講演&パネル討論を含む55件の発表があった。</p> <p>招待講演 1：人由来のデータ活用のイノベーションとその倫理的問題：医療データを中心にして；横野恵（早大）</p> <p>招待講演 2：健康データ活用の法的側面：米国 HIPPA 等の規制から；加藤尚徳（KDDI）</p> <p>招待講演 3：デジタル版悪という凡庸：AI/データサイエンス社会における差別と社会的偏見；村上祐子（立教大）</p> <p>招待講演 4：大学教育で ELSI を扱う際の構成や工夫について；辰己丈夫（放送大）</p> <p>(2) 電子情報通信学会・倫理綱領および行動規範の改訂作業中：一次案作成終了。コメントを収集中。3月17日に、オンラインで開催された総合大会において、「倫理綱領を改訂すべきか」という題目で、一般公開セッションを実施。ワーキンググループでの議論の経過を報告し、倫理綱領、行動指針の改正の方向性について検討メンバーによるパネル討論を行い、倫理綱領・行動指針案について議論した。</p>
4	土木学会	<p>①2022年2月15日 「設計変更ガイドラインと技術者倫理に関するセミナー」開催</p> <p>申し込み人数： 888名、参加人数： 738名</p> <p>セミナーの開催、内容に関して様々な感想・意見（発注者サイドからも好意的な感想・意見）有り。</p> <p>今後も継続的にセミナー開催を計画中</p>

		<p>②2022年3月24日 倫理社会規範委員会幹事会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理教材作作成 ・企業における倫理研修の実態に関するアンケート等の実施などについて議論
5	日本化学会	
6	日本機械学会	<p>2021年3月11日（金）第4回技術倫理委員会を開催 下記の件について確認審議を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前回議事録確認 2. 2022年度年次大会特別企画の件 3. 日本機械学会倫理規定見直しWG報告 4. 2022年度委員構成の件 5. 日本工学会技術倫理協議会委員選出の件
7	日本技術士会	<p>1. 第4回倫理委員会：2022年2月9日（水）15:00～17:00</p> <p>①綱領小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術士倫理綱領改定案の取りまとめ中で原案が固まりつつある状況。また、現行の綱領に付帯する資料「技術士倫理綱領の解説」に対応する資料の改定版についても構想中。今年夏にはホームページを通じた会員の意見聴取の予定。 ・技術者倫理教材として「最近の技術者倫理事例」を技術士会ホームページに」として公開した。 https://www.engineer.or.jp/c_cmt/rinri/topics/007/007304.html <p>②啓発小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者倫理シンポジウムを5月18日（水）午後オンライン開催予定。テーマは「アフターコロナ時代の技術者倫理」と定め、造詣の深い講師の人選（3名）と講演要請中。 ・新しいCPD登録制度で必要となる技術士倫理教育実績（年間1時間以上）のため本年4月からの運用を目指してeラーニング教材を作成中。 <p>③情報小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月刊技術士に掲載する技術士倫理に関する企画について、大学・高専等で技術者倫理関連講義をされている方など、記事を執筆していただける有識者にも依頼する方向で検討中。 <p>④日本学術会議安全工学シンポジウム2022</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会からも技術者倫理教育の取組について講演発表する予定。 <p>2. 今後の予定 第4回倫理委員会 2022年4月13日（水）15:00～17:00。</p>
8	日本原子力学会	<p>2022/01/28、03/10に委員会を開催。</p> <p>2022/3/16に原子力学会春の大会で企画セッションを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022春の大会（オンライン：3/16水～18金）における企画セッション（3/16水13:00-14:30）として早稲田大学札幌先生に志向倫理を題材に「科学技術倫理 2.0 ～人と組織と社会のウェルビーイングを目指して～」の講演をいただき、議論を行った。 ・委員会設立20年となるため、20周年行事の催しを検討している。また、学会誌に倫理の専門家より投稿をいただく企画の検討を継続している。

		<ul style="list-style-type: none"> ・東京電力の核セキュリティ事案に対して委員会としての見解を公表する計画である。 ・研究機関 JAEA の安全文化について、「組織構造のモデル」を委員が所属する組織の活動に照らし合わせて検討することとした。
9	日本建築学会	<ul style="list-style-type: none"> ・1月21日に倫理実践検討小委員会が開催され、「(仮称)日本建築学会の倫理綱領・行動規範パンフレット」の執筆内容等について検討を行った。 ・2月1日に第4回建築倫理セミナー「米国における技術者倫理ー建築/技術者制度に関する日米の違い及び米国で広がりつつあるADR紛争解決手法ー」をテーマとして、講師に川村武也氏(日本プロフェッショナルエンジニア協会)をお迎えして開催した(参加者69名)。 ・3月15日に倫理実践検討小委員会が開催され、「(仮称)日本建築学会の倫理綱領・行動規範パンフレット」の原稿について検討を行った。
10	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・科研費プロジェクト:映像教材「Wake Up! ーエンジニアになりたいきみへー」完成. オンラインワークショップ開催「新しいドラマ教材を活用した Well-being を志向するエンジニア教育の構築ーエンジニアにとっての Good Work を考えるー」3月14日(月)13:00-16:00. 事例紹介1(小林幸人熊本高専教授), グループワーク. 33名参加. ・第70回年次大会・講演会(9月7日(水)~9日(金)関東地区)にてOS「Positive Engineering Education の可能性」企画 ・倫理綱領, 教育倫理規範に対するパブリックコメント2021年度は無し.
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(以上)